

—進路部通信—

新宿通信

NO. 72

令和4年1月24日
東京都立新宿高等学校
進路指導部

- 大学入学共通テスト 速報
- 共通テストチャレンジ
- 「自由な時間」をどう過ごすか

英語と私と旅

英語科 田中 利美

忘れられないドラマがある。土曜の夜NHK。aとanの区別もままならない頃だったから中学に上がったばかりか。名優宇野重吉が高校生と偽って女子高生と文通する老人を切なく演じる。最後のシーンが強烈だ。宇野重吉が孫のバイクにまたがって疾走する。風を受けて泣いているような笑っているような顔の画面のまま衝突音とサイレン。そのラストシーンのバックに流れていた英語の歌が翌日も翌週も頭の中で回っていた。もう一度聴きたい。お年玉を握りしめて街のレコード屋さんに行ったものの、タイトルさえ言えない。サビの部分で繰り返されていたフレーズだけが頼りだった。「デルピーって曲を探してます」「うーん、知らないなあ」と店のお兄さんは即答だったけど、素っ気ない態度の割には何枚もレコードをかけて探してくれた。ビートルズのLet It Beだった。えー！デルピーって3語なのか。私の耳はそんなもんだった。意味もわからない。お兄さんは「はい、デルピー」と頼みもしないのに丁寧に包んでレコードを手渡してくれた。生まれて初めて自分で買ったレコード。洋楽との出会い。

中学生になって買ってもらったラジカセは、私と世界をつなぐ魔法の箱だった。ジャクソン5、アース・ウィンド・アンド・ファイアー。ラジオから流れてくる音楽にしばれた。経験したことのないリズムやビートに身を任せて、子供部屋を閉め切って妹と気が触れたように踊りまくった。これがアメリカだと思った。ものすごく憧れた。いつか絶対アメリカに行ってやる。待ってるよ、アメリカ。高校に入って夜更かしをするようになった。勉強してんだか、ラジオを聴いているんだか。ひたすら洋楽専門。母にばれないように音をしばって、夜の静けさの中を電波にのって届く彼の地の音楽に耳を澄ませた。相変わらず英語の歌詞はさっぱりだったが、ある晩ははっきりと一語一句意味のある言葉として歌詞が私の耳に飛び込んできた。

Honesty is such a lonely word. Everyone is so untrue.

Honesty is hardly ever heard. And mostly what I need from you.

ビリー・ジョエル *Honesty*。雷に打たれたような瞬間。聞こえる！聞こえた！その日から私の洋楽ノートが走り書きで埋まっていった。イントロでこれだ！と思うとすべて録音して繰り返し聴いて歌詞を書きとった。これって仮定法じゃん！高校の授業で習った表現が出てくると、自分の英語力が伸びているような気がして嬉しかった。

洋画も英語の世界へと私を誘ってくれた。水曜ロードショー、日曜洋画劇場。母がいそいそと紅茶とお煎餅を用意して映画鑑賞態勢に入る。大人の時間。小学生の私と妹は居間から閉め出された。ふすまの隙間から目を凝らして覗く。甘いマスクなのに眼光鋭い男の人がいた。母のお気に入り、アラン・ドロンド。「寝なさい！」ふすまをビシヤリと閉められ決して見せてはもらえなかったが、ある晩「そんなに見たいならいらっしゃい」と開かずのふすまが開いた。『ベン・ハー』だった。私が記憶する最初の洋画。壮大な歴史スペクタクル。ローマ競技場での迫力の戦車競走。キリストの復活と奇蹟。あつけにとられ

た。内容をどれだけ理解したのかは怪しいが、禁断の味は一発で私を虜にした。初めての劇場体験は『タワーリングインフェルノ』。サンフランシスコの超高層ビルが火災で炎に包まれるパニック映画。大きなスクリーンと大音響に度肝を抜かれた。大スクリーンと言えば、確か新宿で見た『スターウォーズ』。巨大な宇宙船がスクリーンをはみ出してこちらに向かってくる！思わず目をつぶり座席でのけぞった。映画館の暗闇が特別な場所になった。大学生になって、テニス部の練習がオフの日曜日は、ぴあを片手に入念に計画を立て、3本立て、2本立ての映画館をはしごして1日に5本映画を見てもまだ飽き足らなかった。ゆっくりした英語のセリフは聞き取れたが、マシンガントークの警察ものや軍隊ものは歯が立たなかった。字幕スーパーが頼りだった。少しずつ聞き取れるようになっても字幕スーパーから目が離せなかった。英語のセリフがこんな日本語になるんだ。簡潔な日本語の選び方に唖った。字幕スーパーはどうやって作るのだろう。自分でも作ってみたい。戸田奈津子、清水俊二、岡枝慎二の本を貪り読んだ。そしてレンタルビデオ時代の到来。見逃した映画、古い映画を観れるのが夢のようだった。年間100本観た。死ぬ前に1本だけ見てもいいと言われたらどの映画にしよう。『ローマの休日』か『サウンド・オブ・ミュージック』か。100回以上観てセリフもすべて覚えているが、それでも観る度に新鮮な感動がある。これまで観たすべての映画に「ありがとう」と言いたい。そんな私の映画愛を体現してくれたのが『ニュー・シネマ・パラダイス』だ。朝イチの下高井戸の映画館最前列。上映開始直前に女優の宮本信子さんが滑り込むように入ってきて隣りに座った。エンニオ・モリコーネの心を震わせる旋律。ラストの数々のキスシーン。場内が明るくなっても涙が止まらず席を立てなかった。隣で宮本信子さんもタオルを握りしめて号泣していた。

自分で稼ぐようになって日本を飛び出した。私の海外旅行は聖地巡礼だ。映画で見た場所、本で読んだ場所を自分の足で歩く。ロンドン、パリ、ローマへ。ケルン、ウィーン、プラハへ。チャンスがあれば日本を飛び出した。初めてのニューヨーク。興奮し続けた1週間。ジュリアーニ市長が厳しく取り締まり、観光客にとってはこの上なく安全な街になっていた。毎朝デリでベーグルにクリームチーズをたっぷり塗ってもらってぱくつき、ブロードウェイで芝居やミュージカルを夜遅くまで楽しみ、ハーレムでゴスペルを聴き、セントラルパークでジョン・レノンに花を捧げ、フィフス・アベニューで高級店を覗く。ニューヨークの女性はみな黒・グレー・茶・ページュのモノトーンの服を着ていた。自由の女神像、ウォール街、エンパイア・ステート・ビル。いつも見上げていた。真下から見上げたら腰が抜けそうになったワールド・トレード・センターが翌年崩れ落ちて瓦礫の山になるなんて夢にも思わなかった。

私のもう1つの聖地巡礼はキング牧師の足跡を辿る旅だ。始まりは1995年春ワシントン D.C.。巨大なリンカーン像を背に、キラキラ輝くりフレクティング・プールを正面に見て大きく息を吸い込んで口ずさんだ。

When we allow freedom to ring, ... we will be able to speed up that day when all of God's children, black men and white men, Jews and Gentiles, Protestants and Catholics, will be able to join hands and sing in the words of the old Negro spiritual: Free at last! Free at last! Thank God Almighty, we are free at last!

力強く歌うようなキング牧師のスピーチはいつだって私の中にある。あの頃はのどかだった。朝早くホワイトハウス近くの広場に並ぶと整理券が配られ、ホワイトハウス内見学に簡単に参加できた。クリントン大統領が同じ屋根の下にいたりするんだろうかとドキドキした。2年後、深南部ミシシッピ州とテネシー州を訪れた。白いマグノリアの花と驚くほどの赤土の大地。キング牧師が暗殺されたメンフィスのモーター。最後に休憩をとった2階の部屋はそのまま残され、大きな花輪が飾られていた。邪魔者を葬り去るアメリカの闇。メンフィスから車を走らせ、友達が研究していたピュリツァー賞作家ピーター・テイラーの生地トレントンという小さな街を訪ねた。道の両側は3時間ドライブしても途切れるこ

とのない綿花畑。途中畑に降り立つと、朝顔とスイトピーを足して2で割ったような花が風に揺れていた。あまりの広大さに気が遠くなる。ここで黒人奴隷は働かされていたのか。その過酷な労働は想像を絶する。凄惨な人種差別が荒れ狂った地だが、人は温かかった。ようやくトレントンにたどり着いたのが夕方5時過ぎ。街のいたるところに謎のティーポットのポスターやオブジェが。不思議な街の佇まいについて誰かに聞いてみようと思うが、閉園したテーマパークのように人っ子1人いない。すると"Can I help you?"の声が背後から。パット・ライリーさんと名乗る男性は私達の質問を聞くと市庁舎に案内してくれ、ポケットから取り出した鍵で市庁舎の玄関を開け、さらに奥の展示室を開け謎を解いてくれた。壁という壁に飾られたティーポットのコレクション。街の名士が趣味で世界中から集めたティーポットを市に寄付してくれたそうだ。それ以来毎年5月にティーポット祭りが行われ、手料理や農産物を持ち寄り市が立つ。そこまで話すとジョンさんは「あ、僕は帰らなきゃ。母の誕生日なんだ。でも君たちはゆっくりしてって」と言って鍵束を私達の手落とし「帰りに隣の消防署に預けてくれればいから」と手を振って出て行った。残された私達は呆然と突っ立っていた。見ず知らずの日本人に市庁舎の鍵を預けて帰っちゃう?! ここは本当にアメリカか?! 入念に戸締まりをして消防署へ行くと、ちょうどできたところだから食っていきなと熱々のフライドチキンとキンキンに冷えた甘いアイスティーをふるまわれた。ここは本当にアメリカか?! Southern hospitality に胸が熱くなった。いよいよ帰国の日。ミシシッピ大学で知り合ったシェリーという黒人女性が空港まで車で送ってくれた。あの頃はのどかだった。見送りの人もセキュリティー・チェックを通過してゲートまで行って別れを惜しむことができた。ところが、セキュリティー・チェックの真ん前でシェリーが急に立ち止まって「ごめんなさい。ここでお別れだわ」と言い出した。"I have a gun in my bag today." 車のダッシュボードの物入れに銃を置いてくるのを忘れたという。バックに銃が入ってる!? なんで? シェリーの答えが胸に突き刺さった。"Because I'm black. I'm a woman." 黒人で女性であるシェリーが自分の身を守って生きていくためには銃が必要なのか。中学生の時から憧れ続けたアメリカは、いくつもの顔を持ち、複雑だ。

あらら、書き出したら筆が止まらなくなりました。ここまで読んでくれた皆さん、昔話に付き合ってくれてありがとう。私はつくづく昭和の人間だと思う。平成生まれの皆さんにはピンとこなかったことも多かったでしょう。許してね。私の人生は成り行き任せだけれど、皆さんに言えることがあるとすれば、ままたまなことがあっても思い続けていれば大抵の夢は叶う。人生は発見の連続で面白い。知れば知るほどまた知りたくなる。人生で後悔するのは、やったことではなく、やらなかったこと。迷った時はちょっと勇気を出して未知の世界へ飛び出して试试看。今は身動きのとりにくい時期だけれど、明けない夜はない。私もまだいくつかの夢を温めていこうと思います。

□ 大学入学共通テスト 速報

1月15・16日の2日間にわたって大学入学共通テストが実施されました。今年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当日までの健康観察や、当日のマスクの着用など、受験生にもさまざまな対応が求められました。このような中3年生はよく頑張りました。毎朝登校し、夕方まで自習室で勉強する3年生も数多くおり、とても立派でした。

本校の概況は表のとおりです。

大学入試センターによる平均点の中間集計が19日に発表されました。最終発表は2月7日(予定)です。今後、得点調整の有無が発表されます。また、河合塾と駿台・ベネッセからセンターリサーチの集計に基づく合格目標ラインがネット上で発表になります。さらに、受験生個人に合否判定予想を記した個人票が返却されます。これらをもとに国公立大学2次試験の出願を行ってください。

2次の出願は1月24日から2月4日に行います。前期日程だけではなく後期日程の出願もこの時に行います。前期日程が不合格になってから後期日程に出願するものではありませんので、くれぐれも注意してください。

○ 共通テストチャレンジ (1, 2年)

1月19日(水)に、1・2年生は共通テストチャレンジを実施しました。今年の大学入学共通テストの問題を、1・2年生でも解いてみようという試験です。目的は、現在の自分の学力が目標とする受験問題レベルに対してどのくらい定着しているのかを把握するため、また、1年後、あるいは2年後にむけてモチベーションアップをはかるためです。1・2年生でも、現在の学習で培った力で解ける問題はありますが、もちろん、今の時点で簡単に解けるわけはありません。得点にこだわるのではなく、試験問題や解く時間を実際に体感し、結果を分析し、弱点を自覚して今から対策を講じておくことが大切です。

振り返りのために、チェックポイントを簡単に紹介します。これは、ふだん受験している模擬試験や、定期考査でも同じことです。

○ 時間内に全問解き終わったか。解き終わらなかった場合は、どの問題に時間がかかったか。あとどのくらい必要だったか。

○ 既習範囲からの出題、解ける問題が確実に得点できたか。

教科	科目	新宿高校	中間集計
国語	国語	135.6	108.79
数学	数学Ⅰ・A	48.6	40.25
	数学Ⅱ・B	53.8	45.89
英語	リーディング	82.3	63.29
	リスニング	77.8	60.56
地歴	世界史B	86.6	68.01
	日本史B	69.0	54.92
	地理B	67.0	61.15
公民	現代社会	76.5	63.13
	倫理	少数のため不掲載	63.70
	政治・経済	67.1	58.98
	倫理、政経	78.7	69.89
理科	物理基礎	40.5	31.46
	化学基礎	38.0	29.08
	生物基礎	32.5	25.15
	地学基礎	42.0	36.59
	物理	70.8	61.97
	化学	56.5	49.45
	生物	62.2	50.08
	地学	なし	54.75
文系 5/6-9	900満点	641.9	----
理系 5-8	900満点	589.4	----

○ マークミスや、焦っての解答ミスはなかったか。

○ 解けなかった問題は、なぜできなかったのか。既習範囲ではなかったのか、思考力、判断力、表現力の不足だったのか。どうすれば解けたのか。

受験後によく復習し、解けなかった箇所はその都度問いへの着眼点や考え方、解読のプロセスや論述のし方を見直していくように、ミスしてしまった箇所は反省点として、同じ間違いをしないのは当然、同様の問題への応用力をつけ、基礎固めをするように心がけましょう。

大学入学共通テストだけでなく、各大学の受験の傾向としても、今後ますます知識だけでなく思考力や表現力をはかる問題が増えていきます。対策としては、まずは知識の確実な定着ですが、そこに留まらずもう一步先を考える学習を心がけましょう。また、日ごろから「書く」ことを心がけましょう。自分の言葉を使って文章を書く作業を通し、思考は深まっていくものです。

○「自由な時間」をどう過ごすか

東京都では、依然として新型コロナウイルス感染拡大が続いています。それによって本校でもマラソン大会の実施が見送りになるなど影響が出ています。いつどこで感染するかもわからない状況で、それぞれが大変な不安や、先の見えないもどかしさの中にいることと思います。皆さんの生活はどのように変わったでしょうか。また、意識して「変える」ことができたでしょうか。

1月と2月は都立高校の入学試験です。試験の当日や直後の採点日は登校禁止期間となり、在校生の皆さんは自宅学習になります。学校から離れる自由な時間をどう過ごすか、ぜひ考えてみてください。

2年生は3年0学期が始まりました。つまり、2年生というよりも「3年生の助走期間」に入っています。大学入試共通テストまで、あと1年を切りました。この助走期間を、1年後に「あの時に頑張っておいてよかった」と思えるような基礎定着の期間とするのか、それとも「あの時にもっと頑張ればよかった」と後悔する過ごし方をしてしまうのか、自身の行動次第です！

◆今後の予定

○午前授業（40分）・大掃除 1/25（火）

○都立推薦入試 1/26（水）・27（木）立入禁止

○実力テスト（1, 2年） 2/2（水）

○キャリアガイダンス（1年） 2/9（水）

○都立学力検査 2/21（月）

立入禁止は 2/19～26

「先輩からの言葉」は、新宿高等学校同窓会である「朝陽会」の方々のご協力で、毎号卒業生からご寄稿をいただいています。

社会で活躍される皆さんの先輩方の貴重なメッセージです。

外国語を身につけるには

神田外語学院 アジア/ヨーロッパ言語科 スペイン語コース コーディネーター

27 回生 新田恵子

現在私は、専門学校・神田外語学院でスペイン語の授業を受け持つとともに、講師間の進度調整など、ネイティブや日本人講師のまとめ役をしています。また神田外語キャリアカレッジの講師として、外務省や企業の赴任前研修も担当しています。

私はもともと国際的な広がりのある職業に就きたいと思っていました。大学進学の際に、皆が学ぶ英語とは異なる言語を学んでみたい、なかでも多くの国で用いられているスペイン語が実用的だと思い、スペイン語学科を選びました。卒業後は証券会社の国際金融部に勤務し、英語とスペイン語の翻訳者を経て、2004 年から神田外語学院で講師を務めています。

スペイン語の魅力は発音の美しさに加え、スペインやラテンアメリカ諸国の文化が多様で奥深いことです。スペイン語を教える楽しさは、新しい言語を教えることです。英語にはない男性名詞と女性名詞、動詞の活用形などを、どうすれば分かりやすく説明できるか工夫を重ねています。「先生、わかりました！」と言ってもらえると、本当に嬉しいです。楽しみながら身につけられるよう、短い劇を学生自身がスペイン語に訳してグループで練習し、発表する機会を設けました。社会人研修はスペイン語圏に赴任予定の方が対象なので、真剣に学ぼうという強い意気込みが感じられ、教える側も身が引き締まります。基礎に加えてビジネス会話や生活に役立つ表現、文化の違いなどを扱います。

教えるためには、こちらも勉強を続けることが必要なので、ネイティブや日本人の先生方の研究会に参加し、多くを学んでいます。また教員を対象とした夏期講習会に2度ほど(マドリッド、バルセロナ)参加して新しい教授法を学び、さまざまな国のスペイン語講師と交流することができました。コロナのため昨年度、オンライン授業が始まりました。初めは苦勞しましたが、視覚的に文法を理解できるような教材を作る、動画を用いて文化理解を深めるなど、ICT 活用を進めるきっかけになりました。

高校生の皆さん、今が一番多くのことを吸収できる時です。文法や語彙を身につけることは、ランニングやストレッチで基礎体力を作るのと同じですから、受験はもとより一生役に立つはずですが、さらに国際コミュニケーションに欠かせないのは、論理的に考える力です。まずは Why? と尋ねられた時に、きちんと答えられるようになってください。これは語学を専門にしたい人にとっても、ツールとして身につけたい人にとっても、大切なことだと思います。

最後に、合唱について少々。高校時代の一番の思い出は、音楽部での合唱活動です。卒業後もご縁が続き、大先輩方の『六声会』にあやかっけて名付けられた『新声会』というグループで月1回練習をしています。東京外国語大学では混声合唱団『コール・ソレイユ』に入部、こちらも交流が続いていて、現役・卒団生の合同ステージなどに参加しています。合唱を取り巻く状況は厳しくなりましたが、新宿高校音楽部の部員たちが頑張っていることを知り、とても嬉しく、誇りに思っています。

二度とない高校時代、将来を見据えて充実した日々を過ごしてください。